

令和3年(2021年)6月15日

# デンタルミーティング 春季特別号

編集・発行人 西澤 均

定価：1部 105円(税・送料共)  
購読料は日歯連盟会費に含む

# 日歯連盟広報

発行：日本歯科医師連盟 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-20

TEL：03-3262-8644 FAX：03-3263-0345 E-mail：jdpf@jdpf.jp

日歯連盟ホームページ <https://www.jdpf.jp/>



### Pick Up!

**全国各地の歯科医師会  
私立歯科大学附属病院等で  
歯科医師によるワクチン接種始まる!!**

新型コロナウイルスのワクチン接種を少しでも早く進めようと、日本歯科大学附属病院では5月25日、研修を受けた歯科医師が接種を行った。これに先立ち18日には、神奈川県大和市で、全国で初めて研修を受けた歯科医師が住民への接種を行っている(1面に関連記事掲載)。

## 全国各地で 日本歯科医師連盟主催「デンタルミーティング」が開催されています!

日本歯科医師連盟主催「デンタルミーティング」について

日本歯科医師連盟は現在、国の動きの情報をいち早く全国各地の先生方へお届けし、歯科行政に通じた山田顧問との意見交換ができる「デンタルミーティング」の機会を設けております。

山田宏顧問による、歯科界への思いがこもった講演の場を我々歯科医師で共に作り上げましょう!

嘱託弁護士による「政治活動と選挙運動」についての講演も併せて行っております。

※デンタルミーティング開催をご検討の際は、日本歯科医師連盟事務局までお問い合わせください。

開催された各都道府県歯連盟からのご意見(一部抜粋)

☆短時間かつWEB配信によるご講演の中でも、山田宏顧問の歯科界に対する情熱が伝わってきた。

☆明朗快活で無駄のない話術、客観的視点による示唆に富んだ山田宏顧問の講演に引き込まれた。

☆質疑応答について、山田宏顧問には多くの質問に対して丁寧・的確にお答えいただいた。

☆弁護士の先生のご講演で政治活動と選挙運動の違いをあらためて学ぶことができ、大変参考になった。

この他にも様々なご意見を頂戴しております。



群馬県



東京都



岐阜県



茨城県 (WEB)



岩手県 (WEB)



北海道 (WEB)



宮城県 (WEB)



熊本県 (WEB)



鹿児島県 (WEB)



長崎県 (WEB)



石川県 (WEB)



新潟県 (WEB)

※本写真については、ご提供いただいた県についてのみ掲載しております。

令和2年12月5日から令和3年5月31日までに開催された全国のデンタルミーティング(詳細は日本歯科医師連盟会員HPをご覧ください)

令和2年 群馬、東京、岐阜、茨城、東京

令和3年 岩手、和歌山、北海道、宮城、熊本、熊本、鳥取、鹿児島、群馬、茨城、熊本、長崎、福島、東京、佐賀、石川、岐阜、福岡市、新潟

<今後の開催予定> 熊本、東京、三重、山口、東京、新潟、山梨、香川、静岡、岐阜、岐阜、岐阜、宮城、埼玉、北海道

※各都道府県自治体による感染症対策の状況を鑑み、変更となる場合がございます

5月27日にNHKで放送されたクローズアップ現代+「新生ワクチンは世界を救うのか?開発の立役者・カリコ博士×山中伸弥」の番組のなかで、mRNAワクチン開発の立役者でノーベル賞候補の呼び声も高いカタリン・カリコ博士は、次のように述べている。「ワクチン接種した人の唾液にも、抗体があることが分かり驚きました。そのため、ワクチンを接種した人たちが、ウイルスを広めることにはならないと思います」

### 意外なところにも抗体が!?

この研究結果は、歯科界にも朗報である!



石垣佳希歯科医師による  
ワクチン摂取の様子

歯科大学は研修の動画やマニュアルの作成にも携わっており、今後の他の大学病院でのワクチン接種にも期待が高まることだ。



衆議院議員 三ツ林裕巳先生  
(内閣府副大臣・日本歯科大学  
内科学教授)も視察のため来訪



小林隆太郎教授

今回は、その前段階として150名の医療従事者のみを対象に歯科医師(石垣佳希連盟本部長)によるワクチン接種を実施。日本

日本歯科大学ワクチン接種プロジェクトチーム長の小林隆太郎教授は「歯科医師の接種が認められて1か月間、準備を進めてやっとスタートすることができた。自治体などからの協力要請に十分に対応できる体制を作っていきたい」と話した。

新型コロナウイルスワクチンをめぐって、接種の加速化が課題となるなか、政府・自治体の要請で各都道府県において歯科医師によるワクチン接種の動きが高まっている。

## 歯科医師によるワクチン接種 日本歯科大学附属病院で実施

## メルマガ登録で「グッド!」な情報をゲット♪♪

最新の歯科医療界ニュースを配信

「今月の臨床」のお知らせ

「今月の一冊」のおすすめ

などなど、月1回のペースでいろいろな情報をお届けします!

ホームページもリニューアルしました

ご登録はこちらから▶

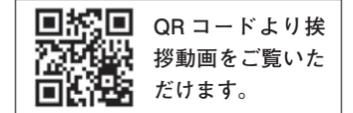
<https://www.jdpf.jp/register/>



おトクな情報を配信中  
メルマガ会員  
募集中!!

日本歯科医師連盟

# デンタルミーティング講演者のご紹介



## 歯科を国の健康政策の柱に

参議院議員 山田 宏

私は杉並区長時代に歯科の重要性に気づきました。赤字が膨らむ杉並区国民健康保険財政を立て直すための健康政策を進めていた際、目に止まったのが香川県健康保険組合連合会の「一年一回でも歯科健診に行く人は、行かない人と比べ医療費が10万円少ない」という報告書でした。

それ以来、私は口腔と健康の関係に関心を抱き、3人の歯科医師を区職員に採用するなど歯科行政に力を入れ、全国初のクリーニング付き歯科健診を導入し受診率を6%から15%まで引き上げるなどを達成。その結果「歯科を健康政策の柱に」が、私の政治家としての信念となりました。

2016年の参議院議員当選後は、私が主宰して自民党国会議員による「歯科口腔医療勉強会」が発足、2017年にはこの勉強会の提言が「骨太の方針」の歯科記載として初めて実現。その結果、国の歯科予算も4年間で3倍増となり、また昭和四十年代から歯科界の懸案だった「40円ルール」の解消も実現しました。

今後も日本歯科医師連盟と共に歯科へのコロナ支援策のさらなる充実を図り、先生方からのご要望等にもしっかりと応えしていきます。また来年度の診療報酬改定に向け、初再診料の医科歯科格差是正や金パラ対策など歯科への正当な評価が得られるよう全力を尽くします。また「国民皆歯科健診実現議連」の事務局長として、全国民が年一回の歯科健診を受診する制度の早期実現を目指していきます。これからも組織代表として「結果」を出していく決意です。

## 誰もが天寿まで健康でいられる国を目指して



参議院議員 (自由民主党)  
元防衛大臣政務官  
自由民主党  
広報本部 本部長代理  
国防部会 部会長代理

山田 宏 (やまだ ひろし)

- ・朝日大学 歯学部 客員教授
- ・日本歯科医師連盟 顧問、広報委員会論説委員
- ・東京都歯科医師連盟顧問
- ・岐阜県歯科医師連盟顧問

所属委員会  
予算委員会  
外交防衛委員会  
沖縄及び北方領土に関する特別委員会 (令和3年5月1日現在)

### プロフィール

昭和33年1月8日 東京都生まれ(63歳)。  
京都大学法学部卒業後、松下政経塾に第2期生として入塾。  
東京都議会議員(2期)、衆議院議員(2期)、東京都杉並区長(3期)  
・杉並区の財政を再建し、レジ袋税や区独自の教師養成機関「杉並師範館」の設立、「減税自治体構想」など数々の独自の政策を推進した。  
・「歯の健康が体全体の健康につながる」として、歯のクリーニング券を歯科健診に付け、受診率を当初の6%から15%まで上昇させ、また、区内の一部の小学校に歯磨き奨励用の洗面台を設置、地域の学校歯科医の皆さんと連携し、歯磨き励行を行い、インフルエンザの罹患率を大幅に減少させた。  
2016年、参議院に当選後は、政治家としての長年の経験を踏まえ、自民党若手議員で構成される歯科口腔医療勉強会を立ち上げ、座長として総理に要望書を4年に渡り提出、2017年から4年、その要望に沿って、政府の骨太方針に歯科口腔医療の重要性が明記されている。また、2019年には「国民皆歯科健診を実現する勉強会」を古屋圭司衆議院議員を会長とし立ち上げ、事務局長を務めている。  
キャッチフレーズである「道を拓く男。山田宏」をそのまま地で行く政治家。  
《主な著書》「日本よい国構想」(平成21年・神楽サロン出版)  
「第3の道」(平成22年・マガジンハウス)  
「政治こそ経営だ」(平成28年・日経BP社)  
「慰安婦問題はこうして動いた」(平成28年・産経出版社)  
「道を拓く男。山田宏」(平成28年・光明思想社)

### 実績

- 2016年の参議院当選後、「歯科口腔医療勉強会」を立ち上げ、エビデンスに基づく歯科の重要性を政府に発信し続け、2017年に初めて『骨太の方針』に歯科に関わる内容が明記された。
- その後、さらに充実した内容で4年連続して記載されている。これに伴い、歯科関連予算は4年で3倍となっている。
- 40年間以上変えられなかった「40円ルール」の撤廃を政治的に解決した。
- 金パラ高騰による歯科医療機関の窮状を解消するべく厚労省に働きかけ、金パラ価格改定の新たなルール「随時改定Ⅱ」ができ、逆ザヤの解消に努めた。
- コロナ禍においては、「無床医療機関への支援に関する要望書」を政府に提出し、その実現に貢献し、会員への情報提供や相談窓口の設置などコロナ対策に奔走している。
- 国会(参議院予算委員会)では、菅総理大臣をはじめ田村厚労大臣、西村経済再生担当大臣から歯科治療の重要性と安全性ならびに歯科健診を奨励する見解を引き出し、全国にテレビ放映された。



令和3年3月19日の参議院予算委員会の歯科部分の動画(字幕入り)をご覧ください。



### 日歯連盟広報154号付録ポスターについてのお詫びと訂正

日歯連盟広報154号付録ポスターの1枚に誤植がありましたので、訂正してお詫び申し上げます。また日本歯科医師連盟ホームページより修正したポスターデータをダウンロードいただけます。



日歯連盟 副会長  
藤井 重壽

日本歯科医師連盟主催のデンタルミーティングが各地で開催され始めました。これは来年の参院選の選挙期間に入るまでの、平時の連盟活動としてのものです。現在は、主に都道府県歯連盟レベルですが、徐々に都市区レベルでも開催され始めています。今号から数回に渡り、デンタルミーティング特集号として広報を偶数月にお届けします▼「国民全員が天寿まで健康にいられる国を目指す、そのためには歯科を健康政策のど真ん中に据える必要がある。」この考えは山田顧問の杉並区長時代の経験から生まれ、現在は信念と呼ぶべきものになっており、全面的に日歯連盟とも考えを共有しています。またこの考えを政策として実現する政治的手腕にかけては、余人に替え難き人物と思えます▼デンタルミーティングは少数でも開催可能ですので、是非連絡をお待ちしています。